



神奈川イグレンの活動状況を伝える機関紙

# 神奈川イグレンニュース

## <第199号>

発行：神奈川県異業種連携協議会（議長 金究武正）  
 発行責任者：専務理事 芝 忠 編集担当：愛賢司  
 〒231-0015 横浜市中区尾上町 5-80 神奈川中小企業センタービル7F  
 Tel./FAX 045-228-7331 <http://www.kanagawa-iguren.com>

## 2019年6月号

### イベントのお知らせ

### → 第51回 海老名サロン

日時	7月26日(金) 午後3時より
場所	神奈川中小企業センター6階 大研修室 (JR 関内駅徒歩約3分)
内容	<p>①「秋田県の事業環境について～秋田県へのアクセス・環境・人材等」          秋田県産業労働部企業立地事務所 企業立地班 大山貴史 氏          海外進出にとらわれず、国内の雇用を守りバランスのとれた産業集積構のために秋田の魅力を語ります。(3時05分～3時35分)</p> <p>②「お客様の満足度を高め、集客につながるモノづくりワークショップの取組み～『選択と集中』—何でも屋からの脱出～」          講師 <b>aspen grove</b> (アスペン グローブ) 代表 福本ミカ 氏          長年、ワークショップコンシェルジュとしていろいろなことに関わってきた中で、自分のやりたいことをしっかりと見つめ直し、「自己満足やただのルーティンにならない」「誰のために行うのか」という問題意識でそれまでの仕事をすべて洗い出しながら「選択と集中」を行い、自信をもって自分の仕事と言える「モノづくりワークショップの企画・運営」・「商品開発」に到達し展開している実践的な報告です。(3時40分～5時10分)</p>
参加費	資料代500円、交流会参加費3,500円

※ イベントの詳細は最終ページをご覧ください。

皆さんの参加をお待ちしています。

## 今月のコンテンツ

---

- |    |                     |       |
|----|---------------------|-------|
| 1. | 川異研通信.....          | 2 ページ |
| 2. | 閑中閑話.....           | 4 ページ |
| 巻末 | 第51回 海老名サロンのご案内     |       |
|    | 第81回 西湘サロンのご案内 (再掲) |       |

## → 川異研通信

---

### 3月定例会

---

3月14日(木)、当所にて会員6名、オブザーバー2名、和光大学学生5名の参加者を得て、3月定例会を開催した。

今回は、当会のメンバー和光大学経済経営学部 小林猛久氏のゼミナール4名の学生方により、「和光大学産学連携事例報告～岡上エール(クラフトビール)の完成と今後の市場展開～」と題し講演が行われた。

同ゼミナールは、地域企業や農家と連携し、生産、加工、販売を一貫して行う6次産業化に取り組んでいる。講演ではクラフトビールの定義、日本における発展や市場の変遷といった概要説明の後、実際学生方が作ったクラフトビール「岡上エール」についての説明があった。地場産物である禅寺丸柿を使用して先ずはジュースを試作したところ、柿50個を使い2本しかできなかった苦労話や、他方ブルーベリーやレモンなど柑橘系を使ったクラフトビールは色や香りもよく、ゆっくり楽しむ飲み方を提唱するなどビールの新たなイメージも語られた。質疑応答も活発に行われ、有意義な定例会となった。その後行われた交流会では、レモンを使った岡上エールやドライフルーツもテーブルに乗り、ゼミナール学生と会員との交流も大いに図られた。

### 3月勉強会

---

3月7日(木)午後6時30分より、ミューザ川崎会議室にて、会員11名の参加者を得て、3月勉強会を開催した。今回は、英語コミュニケーションコンサルタント・エグゼクティブコーチ 中野敬子氏を講師に迎え、「時間がない!とにかく忙しい社長のためのコーチング×英語」と題し講演いただいた。講師のコーチング経験から、失敗と成功を分けるポイントを挙げられ、目標(ゴール)達成への道を探った。成功例として、世界的ミスコンテストのひとつ「ミス・グランド・インターナショナル 2018」で日本代表として過去最高の5位に入賞された方の例を挙げ、コーチングで何をなさったか分かりやすく説明いただいた。続いて、英語学習について、忙しい中でマスターするための秘訣を具体的にあげられ、英語での1分間自社紹介にもトライした。講演は即実践できるような具体的な内容で、質疑応答も活発で好評を博した勉強会であった。

## → 閑中閑話

参議院選挙を目前にして年金問題が大浮上しています。問題の発端になった金融審議会の市場ワーキング・グループ報告書「高齢社会における資産形成・管理」を読まれた方もおられると思いますが、目次等を紹介します。

### 1. 現状整理

- (1) 人口動態等 ア. 長寿化 イ. 単身世帯等の増加 ウ. 認知症の人の増加
- (2) 収入・支出の状況 ア. 平均的収入・支出 イ. 就労状況 ウ. 退職金給付の状況
- (3) 金融資産の保有状況
- (4) 金融環境に対する意識

### 2. 基本的な視点及び考え方

- (1) 長寿化に伴い、資産寿命を延ばすことが必要
- (2) ライフスタイル等の多様化により個々人のニーズは様々
- (3) 公的年金 の受給に加えた生活水準を上げるための行動
- (4) 認知・判断能力の低下は誰にでも起こりうる

### 3. 考えられる対応

- (1) 個々人にとっての資産の形成・管理での心構え
- (2) 金融サービスの在り方
- (3) 環境整備 ア. 資産形成・資産承継制度の充実 イ. 金融リテラシーの向上  
ウ. 高齢顧客保護の在り方

因みに、21人の委員の内11人が投資に絡む金融関係者、7人が大学教授、弁護士1人読売新聞論説委員、日本製鉄副社長というメンバー構成。

高齢化社会に向かう日本人の生活を金融資産形成に向けての提言をしている委員会であるから、「当然」（正しいかどうかは別として）の意見でしょう。

諮問した担当大臣が「政府の見解と違う」といって受理を拒絶などという愚行（しかも首相周辺からの指示と言われてます）は開いた口が塞がらないということですかね。（愛賢司）

## 神奈川県異業種連携協議会

交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください（無料）

【月】	①②③宮川 豊 ④⑤荒 直孝
【火】	①②④⑤児玉 英二 ③愛賢司
【水】	①菊地 ②指方 ③加藤 ④愛⑤芝
【木】	①②③④⑤松井 利夫
【金】	①愛賢司 ②指方 順一郎 ③④⑤織方
【土、日、祭日】	休業

### ➔ 神奈川県イグレン事務局

〒231-0015 横浜市中区尾上町 5-80

神奈川県中小企業センタービル7階インキュベートルーム703号

T/F 045-228-7331 URL : <http://www.kanagawa-iguren.com>

Mail : [iguren@kanagawa-iguren.com](mailto:iguren@kanagawa-iguren.com)



## 第51回海老名サロン開催要領

I. 日 時 7月26日(金) 午後3時より

II. 会 場 神奈川中小企業センター6階大研修室

III. 進 行

1. 資料確認等 (3時00分～3時05分)

2. 報 告

(1) 「秋田県の事業環境について～秋田県へのアクセス・環境・人材等」

秋田県産業労働部企業立地事務所 企業立地班 大山貴史 氏

海外進出にとらわれず、国内の雇用を守りバランスのとれた産業集積構  
のために秋田の魅力を語ります。

(3時05分～3時35分)

(2) 「お客様の満足度を高め、集客につながるモノづくりワークショップの取組み  
～『選択と集中』－何でも屋からの脱出～」

講 師 **aspen grove** (アスペン グローブ) 代表 福本ミカ 氏

長年、ワークショップコンシェルジュとしていろいろなことに関わってきた中で、自分のやりたいことをしっかりと見つめ直し、「自己満足やただのルーティンにならない」「誰のために行うのか」という問題意識でそれまでの仕事をすべて洗い出しながら「選択と集中」を行い、自信をもって自分の仕事と言える「モノづくりワークショップの企画・運営」・「商品開発」に到達し展開している実践的な報告です。

(3時40分～5時10分)

IV. 交流会 (暑気払い) 「とりろう」(関内駅前)

\*資料代 500円

\*交流会参加費 3,500円

① サロン ( ご出席 ご欠席 ) ②交流会 ( ご出席 ご欠席 )

ご本人以外のお出席者方のご芳名・ご職名

FAX 045-228-7331

\*テーマに関心のある方はどなたでもご参加ください。

(担当 イグレン 愛 : 090-7282-0085)

地域の幅広い人材交流を目指した「神奈川新産学公交流サロン」  
**第81回西湘サロン開催のお知らせ**

神奈川県異業種連携協議会（イグレン）事務局

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル7階

【日時】：令和1年7月8日（月）午後6時30分～8時30分（開場6時）

【場所】：おだわら市民交流センター**UMECO** (TEL :0465-24-6611)

【会費】：参加費1,500円（当日）

\*次回 82回予定：令和1年9月9日（月）（開催時間、場所は今回と同じ予定です）



1. 話題：『外国人共生における日本語対応の現状と課題』

小田原市文化政策課 副課長 竹井尚久氏

オリンピック・パラリンピックに向けて、インバウンド対応が急がれる中、一方で出入国管理法が改正され、今年4月から特定技能制度が新たに創設されました。今後5年間で介護や建設、農業など14分野で約35万人の外国人を受け入れる予定とのことですが、これほど多くの外国人をきちんと受け入れる受け皿対応はどうでしょうか？例えば、これまでの留学生対応の日本語学校ではなく、労働者本人やそのご家族に対応する日本語教室や日本語クラス。 その現状と課題は。

2. テーブルディスカッション（ビール、つまみを用意します）テーブルを囲み、自由に討論・交流を行います。

3. 場所



JR 小田原駅東口より  
徒歩約2分です。

住所：小田原市栄町一丁目1番27号（駅東口駐車場1階）（TEL :0465-24-6611）

個人で参加される方は、申し込みの必要がありません。多人数で参加される方は会場の準備の都合もありますので下記参加申込書で参加人数を教えてください。

参加申込 E-mail [yoshiike@maple.ocn.ne.jp](mailto:yoshiike@maple.ocn.ne.jp)

Tel & Fax 0467-32-5154（吉池）

氏名	(参加人数： 名)	所属・役職	
住所		電話番号	( )
		FAX番号	( )